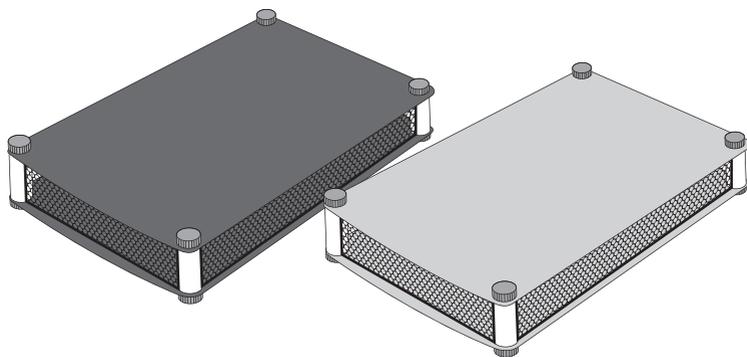


CSL35U2 CSL35U2BL

共通取扱説明書



【はじめに】

このたびは「CSL35U2(BL)」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意】<必ず守っていただくようお願いいたします>

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

 **警告** この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。

 **注意** この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる

煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・ 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- ・ 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびぎのかかるところ
- ・ 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- ・ 火花があたるところや、高温度の熱源、炎が近いところ
- ・ 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- ・ 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- ・ 機械加工工場など切削油または研削油が立ちぬめるところ
- ・ 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ちぬめるところ
- ・ 直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■ もくじ

■ はじめに	i
■ 安全上のご注意	i
■ 特長	1
■ 制限事項	1
■ ご使用の前に	1
■ 製品仕様	2
■ 製品内容	2
■ 各部の名称	2
■ 対応機種・対応OS	3
■ ハードディスクの組み込み方法	4
■ Windows での使用方法	7
■ Mac OS X での使用方法	19
■ トラブルシューティング	21
■ サポートのご案内	23

【特長】

- 本体側面に、ブルーLED・ラインイルミネーションを搭載。
- 本体素材にはアルミニウムを採用。高い放熱性と静粛性を実現しました。
- インターフェイスはUSB2.0を採用。汎用性が高く、ハイスピードなデータ転送が可能です。
- 対応OSはWindowsとMac OS X。Windowsは最新のXPにも対応しており、2000/Meはドライバでインストール可能。

【制限事項】

- ・ 本機からのOS起動はサポートしていません。
- ・ 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・ 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・ 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・ 本機は3.5インチHDD組み込み用途です。CD-ROM等の動作はサポート外とさせていただきます。

【ご使用前に】

- ・ 本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡頂きます様お願いします。
- ・ 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・ MacintoshはApple Computer, Inc.の登録商標です。
- ・ WindowsはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- ・ 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【製品仕様】

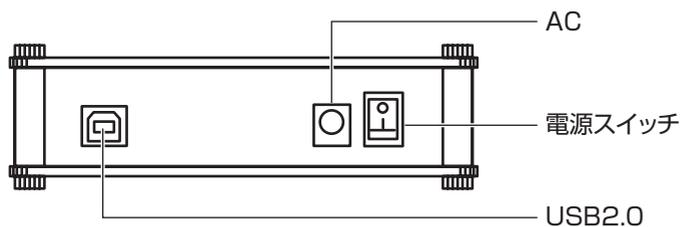
型番	: CSL35J2 (BL)
インターフェイス	: USB Rev2.0準拠
USBコネクタ形状	: レセプタクルBタイプ
電源電圧定格	: 100V ± 5%
電源周波数	: 50/60Hz
寸法、重量 (本体のみ)	: W221 × D128 × H30mm、約 430g
温度、湿度	: 温度5～35℃、湿度20～80% (結露無き事、接続するPCの動作範囲内である事)

【製品内容】

- ・ 本体
- ・ 専用ACアダプタ
- ・ 専用ACケーブル
- ・ USBケーブル
- ・ 取扱説明書／保証書 (本書)
- ・ HD 固定用ネジ×2

【各部の名称】

■背面



【 対応機種・対応OS 】

●対応機種

■Macintosh

- ・ Power Macintosh G5、Mac mini、eMac、iMac、Power Book G4、iBook G4（以上、全てUSB2.0インターフェイス標準搭載モデルに限ります。）。

■Windows

- ・ USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT 互換機（USB2.0モード動作時）
- ・ USB1.1インターフェイスポートを搭載したPC/AT 互換機（USB1.1モード動作時）
 - ※intelチップセット搭載モデル推奨
- ・ Pentium300MHz/メインメモリ 128MB以上。
動作確認済みUSB2.0カード：メルコ社：IFC-USB2P、アイオーデータ社：USB2-PCI2、RATOC社：REX-CBU2（最新のドライバを使用）

●対応OS

■Macintosh

- ・ Mac OS 10.2.6以降

■Windows

- ・ Windows98SE/WindowsMe/Windows2000/WindowsXP
 - ※ Windows95/Windows98/Windows3.x/WindowsNTでは動作しません。
 - ※ Windows98発売以前に発売、製造されたコンピュータは、USBポートの問題で正常に動作しない場合があります。
 - ※ 次の機種では正常に動作しない可能性があるため、サポート対象外となります。
東芝製 DynaBook ,Satelliteシリーズ（K6 CPU搭載のもの）IBM製 Aptiva Eシリーズ（AMD K6 CPU搭載のもの）、SOTEC製 e-note M260シリーズ。
 - ※ 全ての環境での動作を保証するものではありません。

- ・ Windows 98SE でご使用になる場合は、ドライバをダウンロードする必要があります。
詳しくはP6をご覧ください。

【ハードディスクの組み込み方法】

■ハードディスク接続の前に

 **警告** ・ハードディスクを接続するまでに、必ず本機の電源スイッチが切れている事を確認の上、電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。
本機の電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- ・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意して下さい。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使い下さい。

■組み込みの前に

- ・ハードディスクおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意して下さい。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使い下さい。
- ・組み立てにはプラスドライバーが必要です。本製品には付属しておりませんので予めご注意ください。

 **注意** ・フレームやHDDコネクタで手を切らないようご注意ください。

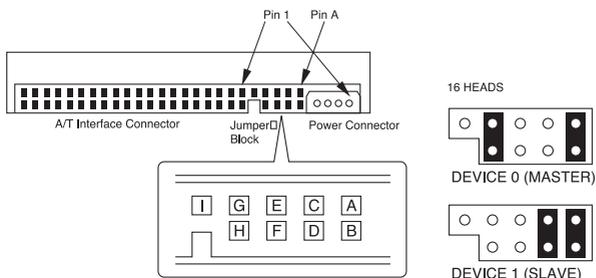
【ハードディスクの組み込み方法】

1：ハードディスクの設定を MASTER にする。

HDDの設定を MASTER に設定します。MASTER 設定は HDD の取り扱い説明書を参照してください。通常は出荷時の設定が MASTER ですが、コンピュータに一度接続した HDD は設定が変わっている場合がありますので、ご注意ください。代表的な HITACHI を例にあげると下記ようになります。

※ Western Digital 製 HDD は出荷時 C/S (ケーブルセレクト) になっている物がありますのでご注意ください。single モードに設定変更する必要があります。

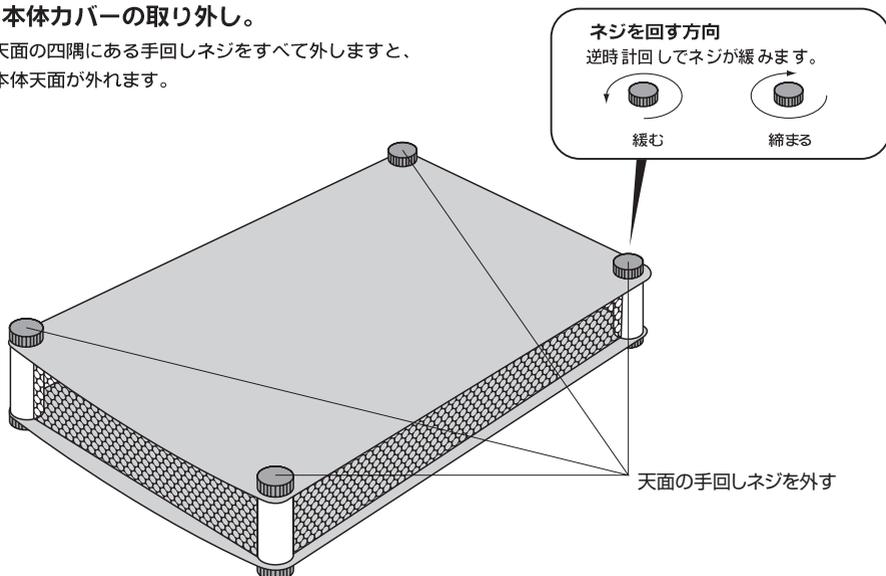
[例] HITACHI 製 HDD の場合



(注) この設定は一例です。実際の設定はお使いの HDD の説明書等をご参照ください。

2：本体カバーの取り外し。

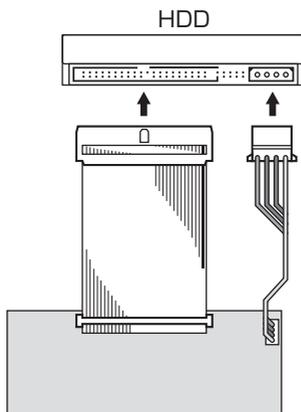
天面の四隅にある手回しネジをすべて外しますと、本体天面が外れます。



※ネジが固くて回しにくい場合は、ペンチ等をご利用ください。

3 : HDD に電源ケーブル、フラットケーブルを装着する。

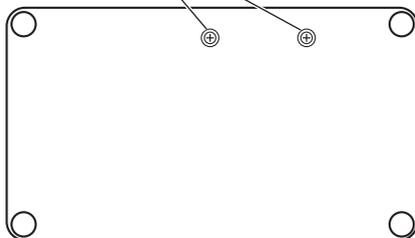
HDD に電源ケーブル、フラットケーブルを接続します。この時指し込む方向に十分注意してください。
また、無理に押し込むと故障の原因となりますので慎重に取り扱ってください。



4 : HDD を固定する。

HDD を、背面から二ヶ所のネジを締めて固定します。

背面から二ヶ所のネジを締めて固定します



5 : カバーを取り付ける。

外した時と逆の手順で、天面のカバーを取り付けてください。
以上で完成です。

【Windows での使用方法】

■ドライバのダウンロード

□ Windows98SEの場合

- 1: Windows98SE用ドライバは付属してありませんので弊社ホームページからダウンロードしてください。
ダウンロード URL <http://www.century.co.jp/support/download/>
詳しくはホームページをご覧ください。

■ドライバのインストール

□ WindowsMe / Windows2000 / WindowsXP の場合

- 1: Windows を起動します。
- 2: CSL35U2 (BL) に ACアダプタ、USBケーブルを接続し、電源を入れます。
- 3: コンピュータに CSL35U2 (BL) を接続します。
- 4: コンピュータが自動的に Windows 標準のドライバを検索してインストールします。既にフォーマット済みの HDD を組み込んだ場合は、マイコンピュータにハードディスクドライブが認識されます。フォーマットされていないハードディスクドライブを接続した場合は、領域の確保とフォーマットが必要ですので、領域の確保とフォーマット（下記）をご参照ください。

■領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、ハードディスクドライブにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。パーティションの分割等の操作については、Windows の説明書や参考書籍などをご参照ください。

□ Windows98SE / WindowsMe の場合

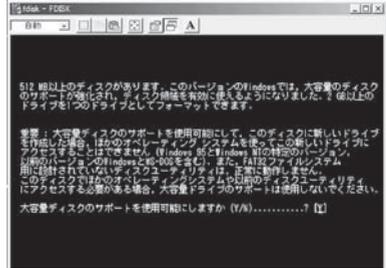
- 1: 「スタート」 -> 「ファイル名を指定して実行」を選択します。



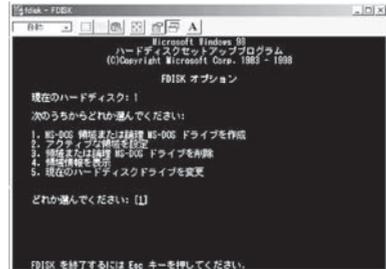
- 2：ファイル名を指定して実行ウィンドウが表示されます。
「fdisk」とタイプして「OK」をクリックします。



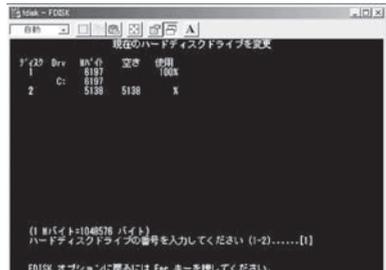
- 3：fdiskのウィンドウが開きます。
大容量ディスクのサポートについてが表示されます。
既定値（Y）のまま「Enter」を押します。



- 4：fdiskのメインメニューが表示されます。
起動直後は起動ディスクを編集するモードになっていますので、まず現在のハードディスクドライブを変更します。
「5」を押して「Enter」を押します。



- 5：現在のハードディスクドライブを変更画面が表示されます。
接続されているハードディスクの一覧が表示されます。
通常、一番下に表示されている物がCSL35U2 (BL) になりますが、接続順によってこの順番は変化します。
「Mバイト」の欄と「空き」の欄が同じで「使用」の欄が「%」になっている物がフォーマットされていないHDDですので、そちらを参考にしてください。
この場合、CSL35U2 (BL) はディスク番号「2」ですので、「2」を押して「Enter」を押します。



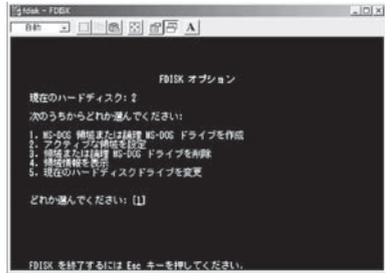
【Windows での使用方法】

■領域の確保とフォーマット

「Enter」を押すと、画面が元に戻りますが、左上の「現在のハードディスクドライブ」の番号が先ほど選択した番号になります。

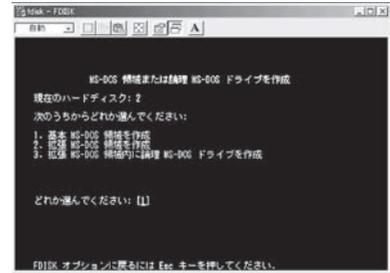
領域を作成するために「1」を押して「Enter」を押します。

注意！：「現在のハードディスクドライブ」の「1」番は、通常システムの起動ディスクです。この番号で作業をおこなってしまうと、システムが起動しなくなったり、ハードディスクの内容全てが消えてしまう可能性があります。

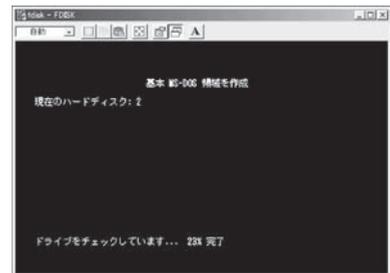


6：領域の作成メニューが表示されます。

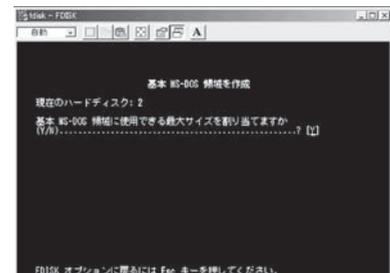
基本MS-DOS領域を作成するため「1」を押して「Enter」を押します。



ハードディスクドライブのチェックが行われます。容量によってはしばらく時間がかかります。



ハードディスクドライブのチェックが終了すると、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますか?」と表示されますので、そのまま「Enter」を押します。



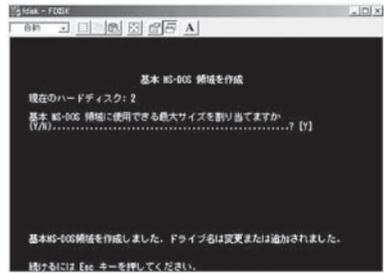
Windows98SE/WindowsMeの場合

ハードディスクドライブのチェックが行われます。容量によってはしばらく時間がかかります。



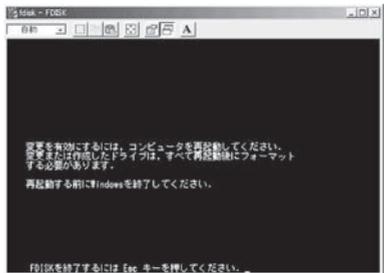
ディスクのチェックが終了すると、下に「基本MS-DOS領域を作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

「ESC」キーを押します。



再起動とフォーマットを促すメッセージが表示されます。

「ESC」キーを押します。

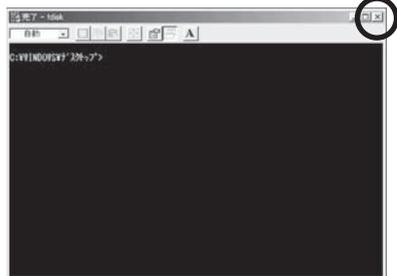


実行ウィンドウの左上に「完了」というメッセージが表示されます。

右上の「x」を押してこのウィンドウを閉じます。

Windowsを再起動します。

Windowsを再起動後、「マイコンピュータ」を開き、ハードディスクドライブのアイコンが増えている事を確認してください。このままでは使用する事が出来ませんので、フォーマットする必要があります。

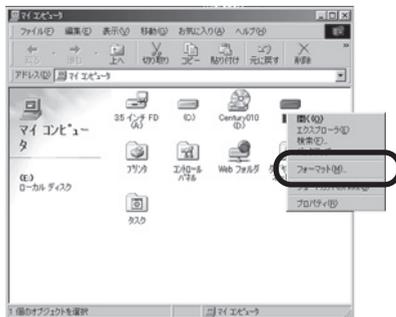


【Windows での使用方法】

■領域の確保とフォーマット

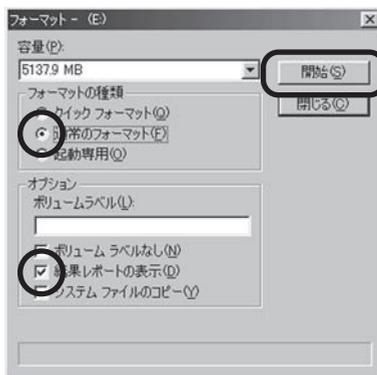
増えたハードディスクのアイコンをマウスの「右クリック」で開き、「フォーマット (M) . . .」を選択します。

注意！：ここで誤って既に使用しているドライブを選んだ場合、データが初期化されてしまいます。また、お客様の環境によっては、領域確保前に使用していたドライブに CSL35U2 (BL) が割り当てられる場合もあります。CSL35J2 (BL) のドライブをマイコンピュータ上で開くと「ドライブ xにはアクセスできません」等のエラーメッセージが表示されますのでこれからフォーマットしようとしているドライブが CSL35J2 (BL) である事を確認して下さい。



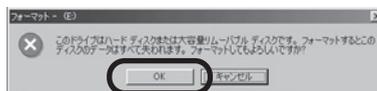
フォーマットウィンドウが表示されます。

「フォーマットの種類」は「通常のフォーマット」「オプション」は「結果レポートの表示」をチェックします。ボリュームラベルに文字を入力しておくと、「マイコンピュータ」で表示されるドライブの名前を付ける事が出来ます。設定したら「開始」をクリックします。



フォーマット警告が表示されます。

このディスクをフォーマットして間違い無ければ「OK」をクリックします。



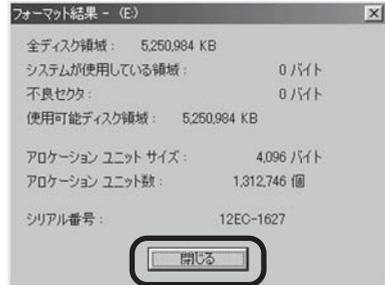
フォーマットが実行されます。下段の進行状況バーがいっぱいになったらフォーマットが終了します。



フォーマット結果が表示されます。

「閉じる」をクリックします。

※不良セクタは正常な物は0バイトですが、ここに数字が出ていると、内蔵されたHDDに何らかの問題がある可能性があります。



スキャンディスクを促すメッセージが表示されます。

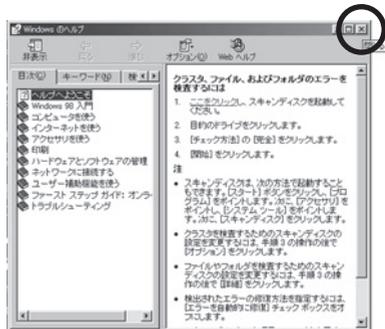
「OK」をクリックします。



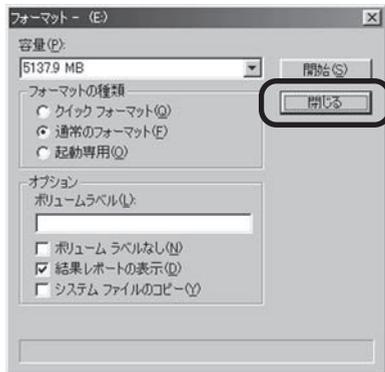
Windowsのヘルプが起動します。

フォーマット時に不良セクタが検出された場合や、お時間のある場合は念のため実施しておく事をお勧めいたしますが、ハードディスクの容量によっては、数時間から数十時間かかる場合があります。

必要が無ければヘルプウインドウ右上の「X」を押してウインドウを閉じます。



フォーマットウインドウを閉じます。



これで領域確保、フォーマットは終了です。

使用可能になっていきますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

【Windowsでの使用方法】

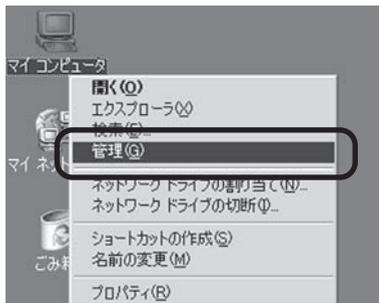
■領域の確保とフォーマット

□ Windows2000／WindowsXPの場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインしておこなってください。

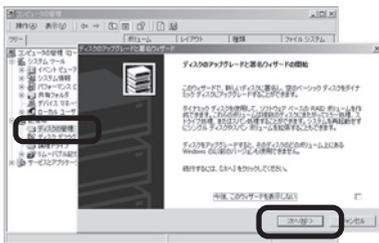
デスクトップのマイコンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

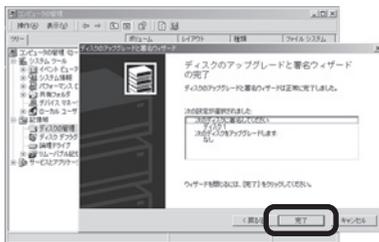


「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。



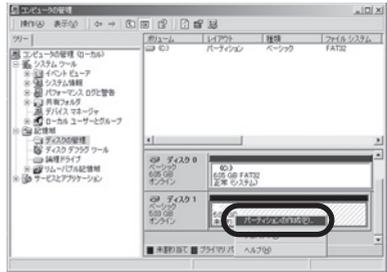
「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。



次にパーティションの作成を行います。

「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P) . . .」を選択します。



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

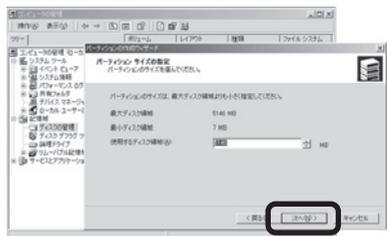
※一つのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。



「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量(1パーティション)ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行う事で、複数のパーティションを作成する事が出来ます。



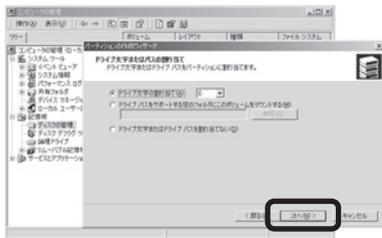
【Windows での使用方法】

■領域の確保とフォーマット

「ドライブ文字またはバスの割り当て」ウインドウが表示されます。

ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。

※「ドライブバスをサポートする空のボリュームにマウントする(M)」は Windows2000、XPの機能で、元々あったハードディスクの中に、新しいハードディスクを増設する方法です。詳しくはWindows2000、XPのマニュアル、ヘルプ、参考書籍をご参照ください。



「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。

このウインドウでフォーマット設定をする事が出来ます。

・使用するファイルシステム

NTFSとFAT32が選択可能です。

NTFSはWindows98/Meでは認識できませんので、Windows98/Meで使用する予定がある場合はFAT32フォーマットを選択してください。

※ Windows2000、XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットする事が出来ません。

・アロケーションユニットサイズ

アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。

・ボリュームラベル

「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ規程の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。

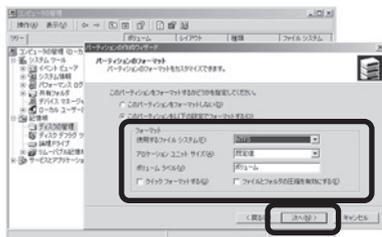
以前フォーマットされていたHDDのみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットする事ができません。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

Windowsのファイル圧縮機能を使用します。

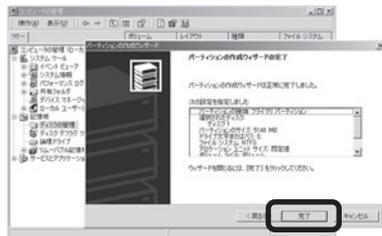
ファイルを圧縮して格納する事により、実際の容量よりも大きく使用する事が可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはWindows2000の説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

全て設定して「次へ」をクリックします。



「パーティション作成ウィザードの完了」ウインドウが表示されます。

「完了」をクリックして閉じます。

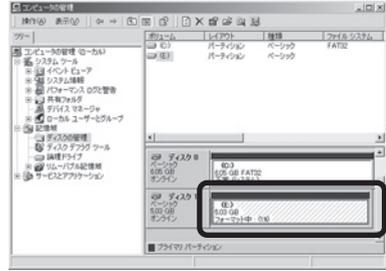


フォーマットが開始されます。

「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。

進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。

使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってください。



フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。

フォーマット中は、コンピュータ、CSL35U2 (BL) の電源を切ったり、ケーブルを取外したり、Windowsを終了しないで下さい。故障の原因となります。



【Windows での使用方法】

■ CSL35U2 (BL) の取り外し

□ WindowsMe の場合

Windowsの「ハードウェアの取り外し」を使用します。

CSL35U2 (BL) を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。

「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックすると、「ハードウェアの取り外し」ウインドウが表示されます。

「USB ディスク」をシングルクリックで選択し、「停止」をクリックします。

続いて「ハードウェアデバイスの停止」ウインドウが表示されますので、「OK」をクリックします。

取り外し完了のメッセージが表示されて完了です。「OK」を押して CSL35U2 (BL) を取り外します。



□ Windows 2000 / Windows XPの場合

Windowsの「ハードウェアの取り外し」を使用します。

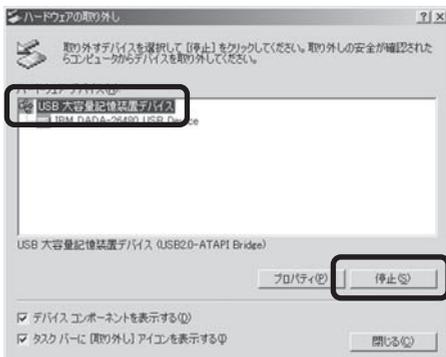
CSL35U2 (BL) を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。

「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックすると、「ハードウェアの取り外し」ウィンドウが表示されます。

「大容量記憶装置デバイス」をシングルクリックで選択し、「停止」をクリックします。

続いて「ハードウェアデバイスの停止」ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。

取り外し完了のメッセージが表示されて完了です。「OK」を押してCSL35U2 (BL) を取り外します。



【Mac OS X での使用方法】

MacOS X では MacOS 標準のドライバを使用します。

※ 予め MacOS9.x で初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。

MacOS X でのフォーマットは OS 標準の「Disk Utility」を使用します。

「Disk Utility」を起動します。

※ 「Disk Utility」は、アプリケーション > Utility の中にあります。

左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。

CSL35U2 (BL) は、「xx GB」と表示されます (xx は接続した HDD の容量)

これをクリックして選択します。



接続されているディスクの情報がされます。



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式

：作成するボリューム数を選択します。8つまで分割して作成する事が可能です。

ボリューム

：メディアの分割状況が表示されます。



ボリューム情報

：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更する事が可能です。

名前

：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS標準、MacOS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMacOS標準かMacOS拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9ディスクドライバをインストールチェックをするとMacOS9で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

全て決定したら右下の「OK」をクリックします。

警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。



【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな?」と思われる場合は、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■ CSL35U2 (BL) から OS が起動しない

OS 起動はサポートしておりません。

■ FDISK で 5 番が表示されない

ドライバインストールが正常に行われていない可能性があります。
6 ページのドライバのインストールを再度ご確認ください。

■ 電源ランプが点灯しても HDD が回転している音がしない。

AC アダプタが正しく接続されているかをご確認ください。

また、添付の専用 AC アダプタ以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず添付の専用 AC アダプタを御使用ください。

■ USB 接続で転送速度が遅い

USB1.1 接続の場合バスの転送速度が遅いため、高速な転送は行えません。
おおよそ 1MB / 秒弱の転送速度となってしまいます。

■ Windows2000 でフォーマットを行うと「フォーマットが完了しませんでした」とダイアログが表示され、フォーマットできない。

Windows2000 の場合、32GB を越える FAT32 パーティションを作成する事が出来ません。

この場合は NTFS でフォーマットするか、Windows98SE / Me 等で予めフォーマットを行っておくことが必要です。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよふたおきなほら}余二翁原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】 04-7142-7285

【Web】 <http://www.century.co.jp>

【Mail】 support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましたのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.